

1

G7 石炭スコアカード: 2016年 更新版

G7直前国際シンポジウム 気候変動とエネルギー 石炭火力の課題に迫る

クリス・リトルコット(Chris Littlecott) E3G化石燃料転換・CCS部門リーダー 2016年5月20日(東京)





- 石炭火力発電は世界で最大のCO₂排出源
- 石炭生産と発電から排出される汚染物質は、健康及び環境被害の主要原因となっている
 石炭は決して「クリーン」ではありえない
- ・ 発電部門における石炭利用の削減は、最短かつ 最小コストでCO₂排出を削減できる方法である
- 石炭に代わるクリーンテクノロジー(クリーン 技術)は利用可能になっている

石炭利用の削減は 気候変動対策の目的達成への鍵



NOTE: IEA450シナリオは「地球の平均気温の上昇を産業革命前と比較して2℃より十分に低く保つととも に、1.5℃未満に抑える努力をする」というパリ協定の約束と矛盾する。上図に示されたCO。削減は強化 する必要がある。 3



なぜ G7が重要なのか?



- G7加盟国は石炭利用から便益を得てきた
- 国際的なリーダーとして、国内対策および国際社会への働きかけを通して気候変動対策を加速させる責務がある
- G7加盟国でも発電部門の石炭利用には差がある。加盟 国が石炭利用を削減することで、他の国々に様々なモ デルを示すことができる
- E3Gは、G7各国の石炭に対する各国のベンチマークを 示すスコアカード・レポートを2015年10月に発表した
- 今回: 過去6か月に何が起こったか?



G7の石炭火力(更新されないのか?)



スコアカードの構成要素: 市場動向と政府方針



1. 石炭火力発電所の新設のリスク

- 2. 既存の石炭火力発電所は閉鎖されているか?
- 3. その国の政策は国際的に前向きな影響を与え ているか?



2015年10月: G7石炭の動向: 2010-2015年とそれ以降





Source: Endcoal Global Coal Plant Tracker, Kiko Network, E3G analysis, Sierra Club. Canada profile includes closure of one plant in 2005 as part of Ontario coal phase out plan. *Includes confirmed retirements up to 2020

2015年10月以降の新たな事実: 日本はG7各国から孤立している



- 日本はG7加盟国の中で唯一今も新しい石炭火力 発電所の建設を続けている
- 他の全てのG7加盟国では、計画していた新規石 炭火力発電所の開発を取りやめた
 - ドイツには、2007-2009年に許可され、今になって建 設が完成する石炭火力発電所が何基かあるが、その すべてが採算が取れない状況
- 他の全てのG7加盟国は、既存の石炭火力発電所の閉鎖をいかに早めるか検討している

「2016年5月の更新版」G7石炭政策の動向 2010~2016年そしてその後





Source: EndCoal Global Coal Plant Tracker, Kiko Network Japan Coal Map, Sierra Club, E3G analysis. Canada profile includes closure of one plant in 2005 as part of Ontario coal phase out plan. *Includes coal plants with firm closure dates already announced plus closures due to result from government policy commitments.

2015年10月以降の新事実



- ・現時点までに中止になった計画 = 67GW (+4GW)
- 現時点までの閉鎖計 = 164GW (+40GW)
- 閉鎖を示す図中に「政治公約」の新項目:
 - 英国は2025年までに石炭火力発電所の全廃を表明
 - 政策文書は近々発表される予定
 - 2016年、設備容量4GWの石炭火力発電設備が既に閉鎖された
 - カナダのアルバータ州は2030年までに石炭を段階的 に廃止に
 - カナダの石炭火力発電所の半数がアルバータ州にあり、現 在は石炭火力は重要なエネルギー源として使われている

石炭スコアカード比較:2015年10月





11

石炭スコアカード比較:2016年5月





G7ランキング:2015年10月



six scores, weighted ac			ase out coal out of coal powe	power r. Each country shows
	Clear progress	Needs improvement	Poor performer	Performance summary
1 st USA	5	0	1	Policy efforts capitalising on market dynamics. Strong international leadership
2 nd France	2	4	0	Political direction impacting internationally. Needs to complete domestic phase out
3 rd 🗮 ик	2	3	1	Ageing power plants are ripe for retirement. Political interest but policy incoherence
4 th 🚺 Canada	2.5	1.5	2	Ontario has shown the way. Alberta set to follow. Federal efforts can be accelerated
5 th 🚺 Italy	0	4	2	Enel moving but must prioritise coal phase out. Government needs to get a grip
6 th German	ny ()	2	4	Climate leadership undermined by coal lobby influence on policy and international finance
7 th Japan	0	1	5	Worst performer in every category. Must turn off the tap of new coal plants

Assessment scoring based on qualitative analysis by E3G. See 'coal scorecard comparison' chart for greater detail on specific scoring.

G7ランキング:2016年5月





14





- G7加盟国のうち6か国が石炭火力発電からの積極的な移行に前向きな選択をしている
- 政府(国、地方、州)が石炭からの移行を今後
 さらに加速させる政策を打ち出している
- しかし、日本政府は各国から孤立し続けている
- 銀行および電力会社は石炭への資金の流れを制限し、石炭火力発電所の閉鎖(あるいは売却)
 に着手し始めている
- 日本が国際的な石炭への投融資と輸出信用を厳しく制限する日は来るのだろうか?





クリス・リトルコット(Chris Littlecott)

E3G 化石燃料転換・CCS部門リーダー

chris.littlecott@e3g.org

Twitter: @chrislittlecott

カナダ





フランス





ドイツ





イタリア





















